

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

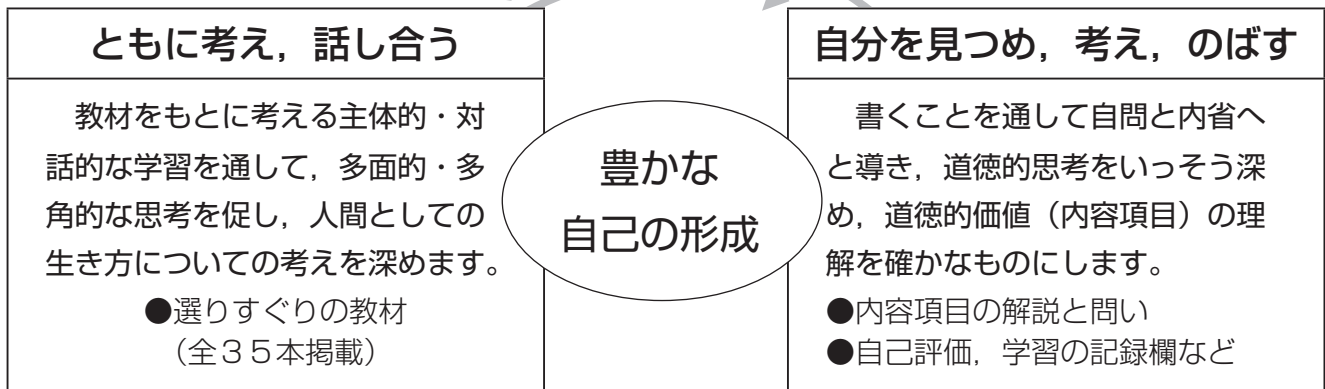
受理番号	学校	教科	種目	学年
29 - 64	中学校	道徳	道徳	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 728 道徳 729	中学生の道徳 自分を見つめる 1 中学生の道徳ノート 自分を見つめる 1		

1 編修の基本方針

教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するため、本教科書は以下を基本方針として編修しました。



2冊の相乗効果で
新時代を生きる生徒の
豊かな情操と道徳心を
培います



ノート別冊には、理由があります



- 生徒の学習状況や授業の進め方に応じて、活用のタイミングを図れます。
 - ▶授業の事前・事後、導入・終末、その他(学校行事など生徒の体験や各教科との関連等)の機会に応じて、弾力的な活用が可能です。
 - 提出が容易で、生徒の心の成長が見えます。
 - ▶別冊ゆえに提出が容易で、随時、生徒の学習状況を教師が確認できます。
- 記述からは、生徒の心の状態や成長が見て取れ、その後の指導や評価に生かすことができます。

○一冊がまるごと生徒の「心の記録」になります。

▶教科書使用終了後も、ノートはその学年の心の記録として各自で保管します。自己を振り返って、自分の考えを比較したり成長を実感したりできるものとして、次学年以降も折に触れて活用することができます。



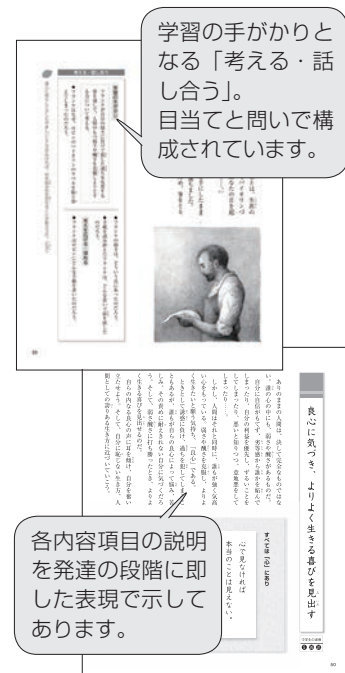
————— 活用性・管理性・保存性・記録性に優れた別冊方式

(1) 豊かな情操と道徳心を培う本冊と「道徳ノート」(第1号)

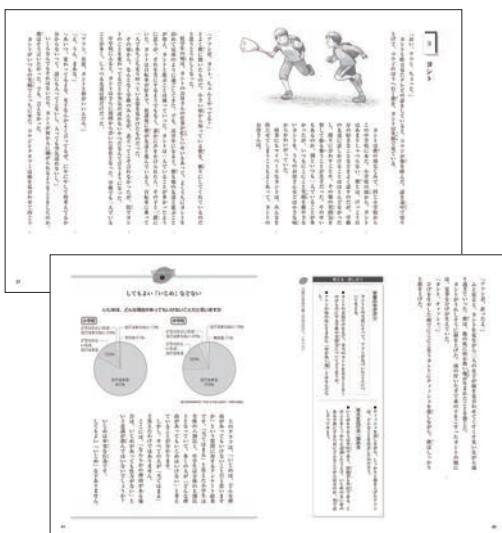
本冊では、各教材ごとに学習の手がかりとなる「考える・話し合う」を配置し、生徒の主体的な思考、対話的な活動を促す構成としました。ともに考え、話し合う協働的な学習により、生徒は、他者の多様な感じ方や考え方に触れることができ、多面的・多角的なものの見方や考え方へとつながる新たな視点を獲得することができます。

また、道徳ノートは、内容項目別に構成することで学習内容(道徳的諸価値)を明確化しました。生徒は、教師の指示に沿って授業の事前・事後、あるいは授業の導入・終末などに道徳ノートを活用することにより、道徳的諸価値への理解が深まり、効果的にねらいに迫ることができます。

生徒の学習状況や各教科等との関連、教師がイメージする授業の進め方や展開などに応じ、2冊を柔軟に活用することで、豊かな情操と道徳心を培うことができる教科書です。



(2) 発達の段階に即した、魅力あふれる35時間分の教材があります(第1~5号)



すべての学年において、年間の配当時数35時間分の教材を掲載しました。各学年の発達の段階に即した、人間のよさを感じることで選りすぐりの教材群から、自主自律、責任、正義、勤労、生命や自然環境、伝統文化、国際平和などの意義や重要性について、深く思考することができます。

問題意識をもち多様に考えることができる教材、自己の体験や経験に照らして考えることができる教材、悩みや葛藤、心の揺れなど人間らしさが理解できる教材、よりよく生きる喜びや勇気、感動を与えられる教材を厳選しています。

(3) 命の教育を重視します(第4号)

本教科書は、特に「生命尊重」に重点をおき、編修しました。内容項目「生命の尊さ」は、最大時間数(年間3時間)を配当しています。

本教科書本冊及び別冊の構成・内容と教育基本法第2条の各号との対照は以下の通りです。第1号に示される「道徳心を培う」については、全内容に該当することから、各々への表示は省略しました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
自分を見つめよう —道徳の時間とは—	中学校における道徳科のオリエンテーションとして活用できます。中学生期は心身ともに大きく成長する時期であることを踏まえて、自分らしい生き方について考えることを呼びかけています。【第2号】	p.2～3
道徳ノート	「中学1年生の私」への書き込みを通して、自己を見つめます。【第1号】	巻頭
自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ 本冊教材番号 ① ③ 24	中学校最初の道徳の時間となる「①この人生の主人公」では、自主・自律の精神について考えを深めるとともに、道徳科は自分自身の生き方について考える時間であることを生徒に伝えます。さらに「④裏庭でのできごと」と情報モラルの観点も踏まえた「24 ネット将棋」の2編を通して、自律的に判断し、行動することの大切さについて考えます。【第2号】	① p.4～5 ③ p.10～14 24 p.111～115
道徳ノート	記述を通して、自律的な判断について自己の振り返りを促します。【第2号】	p.2～3, p.12
度を過ぎず、調和のある生活をする 本冊教材番号 ⑧	「⑧釣りざおの思い出」では度を過ぎないことについて、自らの生活を振り返りながら考え、自主及び自律の精神を養います。【第2号】	⑧ p.32～35
道徳ノート	望ましい生活を送るための自己チェック欄を設けています。【第1・2号】	p.4～5
自己の向上を図り、個性を伸ばす 本冊教材番号 ⑩	神津カナナ氏の作品「⑩木箱の中の鉛筆たち」に触れて、自己の能力を伸ばし、高めていく向上心について考えを深めます。【第2号】	⑩ p.48～51
道徳ノート	書き込みを通して、自分のよい所、改めたい所を見つめます。【第2号】	p.6～7
目標の達成を目指し、着実にやり遂げる 本冊教材番号 ② 30	目標の達成に向かっていくことの意義やそのために必要なことを考える「②目標は小刻みに」では、野球のイチロー選手の言葉にも触れながら、考えを深めます。パラリンピアン成田真由美選手の半生を描いた「③0 終わりになき挑戦—成田真由美—」では、能力を伸ばして、目標に向かうための希望や勇気について考えます。【第2号】	② p.6～9 ③0 p.140～147
道徳ノート	上杉鷹山の言葉に触れて、強い意志をもつことについて考えます。【第2号】	p.8～9
真実・真理を求め、新しいものを生み出す 本冊教材番号 18	伝記「18 ミスター・ヌードル—安藤百福—」を通して、自己の創造性を活かすとともに、真理を探究し続ける態度を養います。【第1・2号】	18 p.80～85
道徳ノート	湯川秀樹博士の逸話から、真理を求める態度について考えます。【第1・2号】	p.10～11
思いやりと感謝の心で人間愛の精神を深める 本冊教材番号 16 21 29	自他の敬愛と協力を重んずることと関わる、思いやりや感謝については、3編の教材を掲載しています。「16 夜のくだもの屋」では地域の人との交流を、「21 地下鉄で」「おにぎり」では公共の場における他者との交流を、「29 旗」では学校の友人関係を題材とし、人と人との温かな触れ合いを感じながら、人間愛の精神について考えを深めます。【第3号】	16 p.68～73 21 p.96～98 ● p.99 29 p.134～139
道徳ノート	意識調査の結果を手がかりに、自他の敬愛と協力を考えます。【第3号】	p.14～15
礼儀の意義を理解し、適切な言動をとる 本冊教材番号 7	「7 半分おとな 半分こども」の同年代の主人公に共感しながら、礼儀作法について考えを深め、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。【第3号】	7 p.29～31
道徳ノート	本冊教材との関連を図り、中学生の礼儀について考えます。【第3号】	p.16～17
互いに励まし合い、高め合える友情を育む 本冊教材番号 6 22	「6 アイツ」では男女の人間関係を取り上げ、信頼について考えます。「22 吾一と京造」では道徳上の問題を深く考える問題解決的な学習を通して、友達を敬愛し協力を重んずる態度を養います。【第3号】	6 p.24～28 22 p.100～105
道徳ノート	異性や友人関係について自問内省する書き込み欄を設けています。【第3号】	p.18～19, p.22
互いの立場や考えを尊重し、謙虚に学び合う 本冊教材番号 33	情報モラルの観点も踏まえた「33 言葉の向こうに」を通して、寛容な心で、相互理解を深め、他者と協力していこうとする態度を養います。【第3号】	33 p.159～163
道徳ノート	相田みつをの作品に触れながら、寛容な心について考えます。【第3号】	p.20～21

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
主として集団や社会との関わりに関する内容	法やきまりを守り、規律ある社会をつくる 本冊教材番号 14 20	「14鳥 耕作 ある朝の出来事」では多面的・多角的に問題場面を捉え、問題解決的な学習を通して、公德心について考えを深めます。生徒にとって身近な題材を扱った「20人に迷惑をかけなければいいのか?」では遵法の意義について考え、社会の発展に寄与する態度を養います。【第3号】	14 p.62～64 20 p.91～95
	道徳ノート	電車内の迷惑行為に関する調査結果から、公德心を考えます。【第3号】	p.24～25
	正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる 本冊教材番号 9 25	「9ヨシト」と「●してもよい『いじめ』などない」ではいじめ問題を扱っています。「25ある日のバッテリーボックス」では障がい者理解の観点も踏まえて、正義を重んじ公平な社会の形成に参画する態度を養います。【第3号】	9 p.36～40 ● p.41 25 p.116～119
	道徳ノート	同年代の生徒たちが考えた「いじめ撲滅宣言」を掲載しています。【第3号】	p.26～27
	社会と関わり協力し、よりよい社会をつくる 本冊教材番号 17	ボランティア活動を題材とした「17加山さんの願い」を通して、公共の精神に基づき、社会に参画し、その発展に寄与する態度を養います。【第3号】	17 p.74～79
	道徳ノート	本冊教材との関連を図り、自身のボランティア活動を振り返ります。【第3号】	p.28～29
	勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献する 本冊教材番号 27	「27午前一時四十分」を通して、働くことの意義を多面的・多角的に考えながら、勤労を重んじ、社会の発展に寄与する態度を養います。【第2・3号】	27 p.126～129
	道徳ノート	家の人や地域の人々と交流を図る書き込み欄を設けています。【第2・3号】	p.30～31, p.42
	家族を愛し、充実した家庭生活を築く 本冊教材番号 19 32	「19美しい母の顔」、「32ふたりの子供たちへ」「●母にあいたい」を掲載し、後者では生命の尊さについても感じ取りながら、家族への敬愛の念を深めます。【第3・4号】	19 p.86～90 32 p.154～157 ● p.158
	道徳ノート	意識調査の結果をもとに、自分と家族との関わりについて考えます。【第3号】	p.32～33
学校を愛し、協力して集団生活を充実させる 本冊教材番号 35	「35二枚の写真」に描かれた温かな人間関係に触れて、学校の人々を敬愛し、協力してよりよい学校生活を築いていく態度を養います。【第3号】	35 p.169～173	
道徳ノート	自分の学校のよさなどを振り返り、愛校心を高めます。【第3号】	p.34～35	
郷土の伝統や文化を大切にし、発展に努める 本冊教材番号 12	長野県の中学校の取り組みを紹介した「12アップルロード作戦」を通して、郷土を愛し、その発展に寄与しようとする態度を養います。【第3・5号】	12 p.52～57	
道徳ノート	意識調査の結果に触れて、自分と郷土の関わりについて考えます。【第5号】	p.36～37	
日本人としての自覚をもち、国の発展に努める 本冊教材番号 15	「15音を宿す」では現代に生きる太鼓職人の姿から、伝統を守り、受け継いでいくことの意義について考えを深めます。【第5号】	15 p.65～67	
道徳ノート	日本の伝統文化を紹介する活動を促す書き込み欄を設けています。【第5号】	p.38～39	
他国を尊重し、世界の平和と発展に寄与する 本冊教材番号 23	「23国際協力ってどういうこと?」では2つの異なる意見を紹介し、多面的・多角的な思考と対話的な学習を通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。【第5号】	23 p.106～110	
道徳ノート	世界の文化について知識をもとに考える書き込み欄を設けています。【第1・5号】	p.40～41	
主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する内容	生命の尊さを理解し、大切にする 本冊教材番号 4 13 28	生命について、「4あなたはすごい力で生まれてきた」では生を、「13曙号の死」では死を扱い、「28語りかける目」では家族への敬愛の念を深めながら、生命の尊さについて考えます。【第3・4号】	4 p.15～17 13 p.58～61 28 p.130～133
	道徳ノート	生きとし生けるものの生命について考える書き込み欄があります。【第4号】	p.44～45
	自然の崇高さを知り、自然の愛護に努める 本冊教材番号 10	伝記「10あのハチドリのように一ワンガリ・マータイ」を通して、自然を愛護し、環境の保全に主体的に取り組もうとする態度を養います。【第4号】	10 p.42～47
	道徳ノート	書き込みを通して、自分にできる環境保全への取り組みを考えます。【第4号】	p.46～47
人知を超えたものへの感動と畏敬の念を深める 本冊教材番号 34	世界遺産アンコール・ワットと、自然の脅威を扱った「34ガジュマルの木」を通して感動や畏敬の念を感じる心について考えます。【第1・4・5号】	34 p.164～168	
道徳ノート	自然や芸術に感動した体験を振り返る書き込み欄を設けています。【第1号】	p.48～49	

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
良心に気づき、よりよく生きる喜びを見出す 本冊教材番号 ⑤ ②⑥ ③①	「⑤いつわりのバイオリン」、「②⑥銀色のシャープペンシル」、「③①よみがえった良心」の3編を通して、人間の良心について考えを深め、良心にしたがってよりよく生きようとする意欲を喚起します。【第1号】	⑤ p.18～23 ②⑥ p.120～125 ③① p.148～153
道徳ノート	サン・テグジュペリの言葉から、生き方についての自覚を深めます。【第1号】	p.50～51
情報機器によるコミュニケーションを考える	情報モラルに関わる内容のうち、情報機器を介したコミュニケーションを取り上げ、他者とよりよい関係を築くことについて考えます。【第3号】	p.174～175
よりよい未来をつくるために	現代社会を取り巻く状況と、さまざまな現代的課題について紹介し、主体的に社会の発展に寄与する態度を養います。【第1・3・4・5号】	p.176～177

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) ワイドで見やすいAB判

判型は本冊，別冊ともにAB判を採用し，紙面にゆとりをもたせ，圧迫感のない構成を心がけました。見やすさ，読みやすさを重視して白を基調とした紙面に，イラスト配置を工夫し，ワイド判によるビジュアル面の利点を生かしました。

(2) 表記・構成上の工夫

道徳科の教材は，生徒の読み取りに差異が生じないことが前提と考え，だれもが内容を正確に理解できるよう，配当漢字及び，未習の漢字については，ページ初出のみならず，すべてにルビ（ふりがな）を配しました。（読みやすさを考慮し，固有名詞は初出のみルビを配しています。）

(3) 一覧で自分自身が見える「心のしおり」

別冊巻末に折り込みとして，自己評価や自己の振り返りに活用することができる「心のしおり」を用意しました。教材ごとに自己評価（授業評価）ができるだけでなく，内容項目ごとにも自分の在り方，生き方を振り返って評価することができ，自己の心の状態や成長を実感したり，課題を見つれたりすることができます。

(4) 環境にやさしい用紙，印刷

環境への配慮から本冊，別冊ともに印刷には植物油インキを使用し，用紙はそれぞれの構成内容や使用用途を踏まえた再生紙を用いました。

- ①本冊は，発色のよさ，見やすさを重視した再生紙を使用しました。
- ②別冊は，書きやすさ，消しやすさを重視した再生紙を使用しました。

(5) 製本の工夫 — 使いやすさと安全性

別冊は書き込みを考慮し，紙面が開きやすい「中綴じ」製本としました。また，綴じ加工用の針金は内側に曲げることで安全性の向上を図り，十分な強度を確保するために3か所に留めています。

(6) 特別支援教育，ユニバーサルデザインへの対応

色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう，色の識別のみによらず，文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮しました。なお，カラーユニバーサルデザインは，専門の第三者機関に検証を依頼し，CUD 認証マークの取得を申請しています。

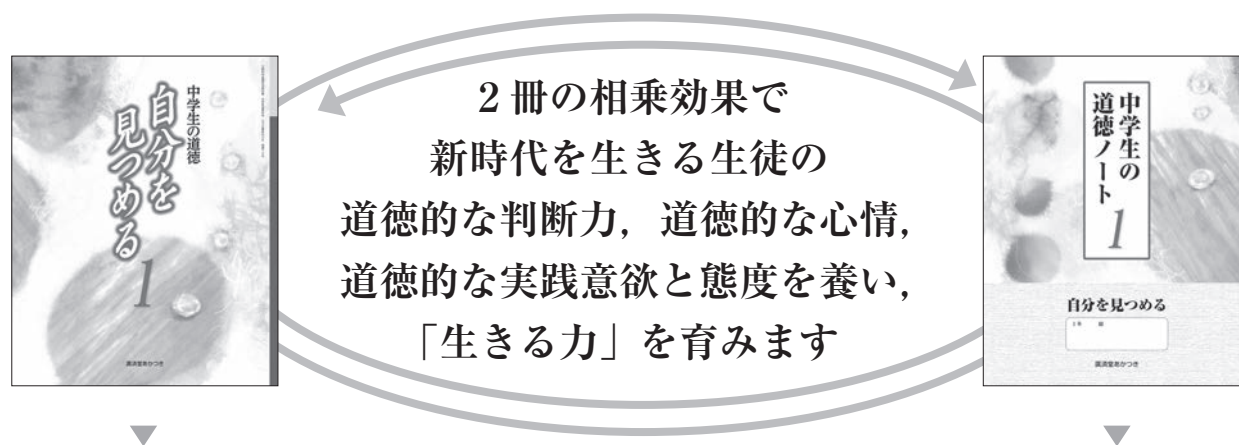
編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
29 - 64	中学校	道徳	道徳	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 728 道徳 729	中学生の道徳 自分を見つめる1 中学生の道徳ノート 自分を見つめる1		

1 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示される教育の方針, 道徳科の目標を達成するため, 本教科書は以下の点に特に意を用い, 編修しました。



本冊 中学生の道徳
【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○発達の段階に応じた選りすぐりの教材 ○教材別「考える・話し合う」 ○教材別 名言(先人・著名人の言葉) ○その他(特集, 内容項目一覧など)
【特色】 ともに考え, 話し合う 教材をもとに考える主体的・対話的な学習を通して, 多面的・多角的な思考を促し, 人間としての生き方についての考えを深めます。
【主な言語活動】 読む, 話す, 聞く

別冊 中学生の道徳ノート
【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ○内容項目(道徳的諸価値)の解説 ○内容項目に準じた問い ○授業で活用できる書き込み欄 ○心のしおり(自己評価など) ○その他(特集, 記録欄など)
【特色】 自分を見つめ, 考え, のぼす 書くことを通して自問と内省へと導き, 道徳的思考をいっそう深め, 道徳的諸価値(内容項目)の理解を確かなものにします。
【主な言語活動】 読む, 書く

授業の事前・事後, 導入・終末など, 生徒の学習状況や教材のタイプ, 教師がイメージする授業の進め方, 展開等に応じて, 適切な機会に別冊を活用することで, 生徒の道徳的諸価値の理解や道徳的思考をより効果的に促すことができます。

本冊の特色

中学生の道徳 自分を見つめる 1

(1) 魅力あふれる多様な教材 (全35本)

名作から新しい作品まで幅広く掲載し、現代的な課題を含むものや問題解決的、体験的な学習活動を促すものまで、多様な教材を取りそろえました。

第一学年	教材の題材		該当する教材番号		教材の性質		該当する教材番号	
	生命の尊厳		4, 13, 28, 32		問題解決的な学習を促す		3, 5, 8, 9, 10, 14, 17, 20, 21, 22, 23, 25, 26, 33	
	社会参画		12, 17		道徳的の行為に関する体験的な学習を促す		5, 6, 8, 14, 16, 25, 26, 33	
	自然		10, 34		教材と関連し学びを深める特集 (thinking) を各学年3編設けています。また、巻末には、「情報モラル」, 「現代的な課題」について考えるページを特設しました。折に触れて各教材との関連を図りながら活用することができます。			
	伝統と文化		15					
	先人の伝記		10, 18					
	スポーツ		30					
	情報化への対応(情報モラル)		24, 33					
その他の現代的な課題		防災教育=28/福祉に関する教育=17, 25, 30, 35/法教育=20/国際理解教育=10, 23, 34/キャリア教育=11, 27/社会の持続可能な発展=10, 23/人権・いじめに関する教育=9, 25						

(2) 重点項目の工夫

学習指導要領の総則に示される指導内容の重点化を踏まえ、関わりの深い内容項目を中心に、以下の項目を重点とし、最大時間数 (年間3時間) を配当しています。

第一学年	重点項目		該当する教材番号		重点項目		該当する教材番号	
	A	自主, 自律, 自由と責任		1, 3, 24	D	生命の尊さ		4, 13, 28
	B	思いやり, 感謝		16, 21, 29	D	よりよく生きる喜び		5, 26, 31

(3) 主体的・対話的で深い学びを促す「考える・話し合う」と「名言」

生徒が自ら課題意識や問題追求への意欲を高め、主体的・対話的に学習に取り組むことができるよう、教材ごとに「考える・話し合う」を設けました。

学習の目当てと問いで構成された「学習の手がかり」によって、生徒は明確な課題をもって主体的に学習に取り組むことができ、対話を通して道徳的諸価値について深く思考することができます。目当ては発達段階を考慮しつつ、教材によっては道徳的価値をあえて明示しないなど、示し方を工夫しました。また、「考えを広げる・深める」では、自分との関わりで考えたり、自己の体験を想起したりして考える問い、物事を多面的・多角的に捉えるきっかけをつくる問い、道徳的価値に関する思考を促す問いなど、生徒が「さらに考えたい」問いを配し、より充実した学習ができるよう構成しました。

また、すべての教材に先人や著名人、魅力ある人物の言葉を併せて掲載しています。示唆に富んだ一言に触れることで、道徳的諸価値についての更なる理解を促したり、人間としての生き方について考えを深めたりすることができます。

名言
先人や著名人の言葉は、教材と合わせて活用でき、生徒の思考を深めます。



考える・話し合う
目当てと問いによって「学習の手がかり」を示し、生徒の主体的・対話的で深い学びを促します。

(1) 道徳的諸価値（内容項目）の確かな理解を促す解説と資料

道徳ノートは、内容項目ごとに見開き2ページを取り、その冒頭でそれぞれの内容項目（道徳的価値）についての解説を掲載しています。生徒の発達の段階に応じて表現を工夫して示しました。この解説を読むことで、生徒は学ぶべき道徳的諸価値の理解を確かなものに行うことができます。

また、解説の下段には、生徒の学習意欲を喚起する写真や、物事を広い視野から多面的・多角的に捉えるための図やグラフ、先人の逸話や言葉など、さまざまな資料を掲載しています。解説とあわせて活用することで道徳的諸価値についての具体的な場面や行為を想起したり、自己の生活との関わりから自問内省をすることで、道徳的諸価値についての思考を深めることができます。

道徳ノートをどのタイミングで扱うかは、教師の判断にゆだねられます。生徒の実態や教材のタイプ、教師がイメージする授業展開等により、いかようにも活用できることが、内容項目の解説を読み物等の教材とは分離して構成した大きな理由であり、利点であると考えています。

(2) 自問と内省へと導き、道徳的思考を深める問い

内容項目ごとに、その道徳的諸価値に準じた問いを掲載しています。問いの中には自己の生活やさまざまな体験活動との関連を図っているものもあります。この問いと向き合うことで、生徒は、道徳的諸価値についての理解をもとに自己を見つめ、人間としての生き方についての考えをより深めることができます。

(3) 記入したことのすべてが、生徒の「心の記録」となる

道徳ノートへの記入内容は、そのすべてが生徒の「心の記録」となります。生徒は、折に触れて過去の記述を読み返したり、巻末の「心のしおり」を利用して自己評価したりすることで、自らを振り返って成長を実感したり、課題や目標を見出したりすることができます。また、生徒の書き込みなどの学習の記録は、道徳科における評価の参考にもなります。

●内容項目に準じた問い

道徳的諸価値の理解をもとに、自己を見つめ、道徳的思考をいっそう深めます。

●内容項目の解説

発達の段階に応じた言葉で分かりやすく示し、道徳的諸価値の理解を深めます。

●巻末折り込み「心のしおり」

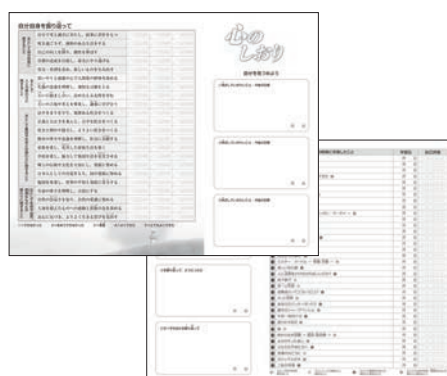
教材ごと、内容項目ごとそれぞれについて、自己評価ができる欄を設けています。

●授業で活用できるノート欄

教師の指示で、記載内容を決めるなど、弾力的な活用が可能です。

●さまざまな図、グラフ、写真、先人の言葉など

解説とあわせて活用することで、生徒の道徳的思考を深めます。



2 対照表




本教科書本冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	本冊 該当箇所	別冊 該当箇所	配当 時数
①	この人生の主人公	自主, 自律, 自由と責任	p.4 ~ 5	p.2 ~ 3, p.12	1
②	目標は小刻みに	希望と勇気, 克己と強い意志	p.6 ~ 9	p.8 ~ 9	1
③	裏庭のでできごと	自主, 自律, 自由と責任	p.10 ~ 14	p.2 ~ 3, p.12	1
④	あなたはすごい力で生まれてきた	生命の尊さ	p.15 ~ 17	p.44 ~ 45	1
⑤	いつわりのバイオリン	よりよく生きる喜び	p.18 ~ 23	p.50 ~ 51	1
⑥	アイツ	友情, 信頼	p.24 ~ 28	p.18 ~ 19, p.22	1
⑦	半分おとな 半分こども	礼儀	p.29 ~ 31	p.16 ~ 17	1
⑧	釣りざおの思い出	節度, 節制	p.32 ~ 35	p.4 ~ 5, p.12	1
⑨	ヨシト	公正, 公平, 社会正義	p.36 ~ 40	p.26 ~ 27	1
	thinking ① してもよい「いじめ」などない	公正, 公平, 社会正義	p.41	p.26 ~ 27	
⑩	あのハチドリのように — ワンガリ・マータイ —	自然愛護	p.42 ~ 47	p.46 ~ 47	1
⑪	木箱の中の鉛筆たち	向上心, 個性の伸長	p.48 ~ 51	p.6 ~ 7	1
⑫	アップルロード作戦	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	p.52 ~ 57	p.36 ~ 37	1
⑬	曙号の死	生命の尊さ	p.58 ~ 61	p.44 ~ 45	1
⑭	島 耕作 ある朝の出来事	遵法精神, 公德心	p.62 ~ 64	p.24 ~ 25	1
⑮	音を宿す	我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	p.65 ~ 67	p.38 ~ 39	1
⑯	夜のくだもの屋	思いやり, 感謝	p.68 ~ 73	p.14 ~ 15	1
⑰	加山さんの願い	社会参画, 公共の精神	p.74 ~ 79	p.28 ~ 29	1
⑱	ミスター・ヌードル — 安藤 百福 —	真理の探究, 創造	p.80 ~ 85	p.10 ~ 11	1
⑲	美しい母の顔	家族愛, 家庭生活の充実	p.86 ~ 90	p.32 ~ 33	1
⑳	人に迷惑をかけなければいいのか?	遵法精神, 公德心	p.91 ~ 95	p.24 ~ 25	1
㉑	地下鉄で	思いやり, 感謝	p.96 ~ 98	p.14 ~ 15	1
	thinking ② おにぎり	思いやり, 感謝	p.99	p.14 ~ 15	
㉒	吾一と京造	友情, 信頼	p.100 ~ 105	p.18 ~ 19, p.22	1
㉓	国際協力ってどういうこと?	国際理解, 国際貢献	p.106 ~ 110	p.40 ~ 41	1
㉔	ネット将棋	自主, 自律, 自由と責任	p.111 ~ 115	p.2 ~ 3, p.12	1
㉕	ある日のバッテリーボックス	公正, 公平, 社会正義	p.116 ~ 119	p.26 ~ 27	1
㉖	銀色のシャープペンシル	よりよく生きる喜び	p.120 ~ 125	p.50 ~ 51	1
㉗	午前一時四十分	勤労	p.126 ~ 129	p.30 ~ 31, p.42	1
㉘	語りかける目	生命の尊さ	p.130 ~ 133	p.44 ~ 45	1
㉙	旗	思いやり, 感謝	p.134 ~ 139	p.14 ~ 15	1
㉚	終わりなき挑戦 — 成田 真由美 —	希望と勇気, 克己と強い意志	p.140 ~ 147	p.8 ~ 9	1
㉛	よみがえった良心	よりよく生きる喜び	p.148 ~ 153	p.50 ~ 51	1
㉜	ふたりの子供たちへ	家族愛, 家庭生活の充実	p.154 ~ 157	p.32 ~ 33	1
	thinking ③ 母にあいたい	家族愛, 家庭生活の充実	p.158	p.32 ~ 33	
㉝	言葉の向こうに	相互理解, 寛容	p.159 ~ 163	p.20 ~ 21	1
㉞	ガジュマルの木	感動, 畏敬の念	p.164 ~ 168	p.48 ~ 49	1
㉟	二枚の写真	よりよい学校生活, 集団生活の充実	p.169 ~ 173	p.34 ~ 35	1
特集	情報機器によるコミュニケーションを考える	思いやり, 感謝/礼儀/友情, 信頼/相互理解, 寛容	p.174 ~ 175		下記
特集	よりよい未来をつくるために	国際理解, 国際貢献/生命の尊さ/自然愛護	p.176 ~ 177		下記
配当時数合計					35

・「情報機器によるコミュニケーションを考える」「よりよい未来をつくるために」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配当時数に含めています。

・①～㉟及び **thinking** については、最も関連の深い学習指導要領の内容のみを示しています。

本教科書別冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	別冊 該当箇所	本冊該当箇所 (教材番号)	配当 時数
自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ	主として自分自身に関すること	自主、自律、自由と責任	p.2～3	① ③ 24	3
度を過ぎさず、調和のある生活をする		節度、節制	p.4～5	⑧	1
自己の向上を図り、個性を伸ばす		向上心、個性の伸長	p.6～7	⑪	1
目標の達成を目指し、着実にやり遂げる		希望と勇気、克己と強い意志	p.8～9	② ③⑩	2
真実・真理を求め、新しいものを生み出す		真理の探究、創造	p.10～11	⑮	1
 自律の精神を重んじ、責任をもって			自主、自律、自由と責任	p.12	
思いやりと感謝の心で人間愛の精神を深める	主として人との関わり	思いやり、感謝	p.14～15	⑮ ⑳ ㉑	3
礼儀の意義を理解し、適切な言動をとる		礼儀	p.16～17	⑦	1
互いに励まし合い、高め合える友情を育む		友情、信頼	p.18～19	⑥ ㉒	2
互いの立場や考えを尊重し、謙虚に学び合う		相互理解、寛容	p.20～21	⑬	1
 異性への理解を深め、ともに輝く関係に			友情、信頼	p.22	
法やきまりを守り、規律ある社会をつくる	主として集団や社会との関わり	遵法精神、公德心	p.24～25	⑭ ㉓	2
正義と公正さを重んじ、公平な社会をつくる		公正、公平、社会正義	p.26～27	⑨ ㉔	2
社会と関わり協力し、よりよい社会をつくる		社会参画、公共の精神	p.28～29	⑰	1
勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献する		勤労	p.30～31	㉖	1
家族を愛し、充実した家庭生活を築く		家族愛、家庭生活の充実	p.32～33	⑲ ㉕	2
学校を愛し、協力して集団生活を充実させる		よりよい学校生活、集団生活の充実	p.34～35	⑳	1
郷土の伝統や文化を大切にし、発展に努める		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	p.36～37	⑫	1
日本人としての自覚をもち、国の発展に努める		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	p.38～39	⑮	1
他国を尊重し、世界の平和と発展に寄与する		国際理解、国際貢献	p.40～41	㉗	1
 働くことの意義を理解し、将来を描こう			勤労	p.42	
生命の尊さを理解し、大切にす	主として生命や自然、崇高なものとの関わり	生命の尊さ	p.44～45	④ ⑬ ㉘	3
自然の崇高さを知り、自然の愛護に努める		自然愛護	p.46～47	⑩	1
人知を超えたものへの感動と畏敬の念を深める		感動、畏敬の念	p.48～49	㉙	1
良心に気づき、よりよく生きる喜びを見出す		よりよく生きる喜び	p.50～51	⑤ ㉚ ㉛	3
配当時数合計					35

・「自律の精神を重んじ、責任をもって」「異性への理解を深め、ともに輝く関係に」「働くことの意義を理解し、将来を描こう」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配当時数に含めています。

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
29 - 64	中学校	道徳	道徳	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 728 道徳 729	中学生の道徳 自分を見つめる1 中学生の道徳ノート 自分を見つめる1		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし		なし	
合計				